

【巻頭言】 歯学協の目指すもの

常任理事：森戸 光彦

歯学協は学術会議への政策の提案や活動の受け皿の一つとして、2003年9月16日に「歯学系学会連絡協議会」として設立されました。多くの学協会が参加し、大きな夢に向かってスタートしました。2007年4月には「有限責任中間法人」登記を行い、2008年12月には「一般社団法人 歯学系学会協議会」に移行しました。会員からの会費のみでの運営は、かなり窮屈なものがありますが、みなさま方のご理解とご協力でここまで運んできました。私は2006年度期に理事、2010年度期から3期6年間常任理事を務めさせて頂きました。業務担当は総務系がほとんどで財務や広報などを担当し、ニューズレターの発行も継続的に行っていきます。財務の立場から見ると、正味財産は少しずつ減少しており、やがて財政的に行き詰まる時が来ると思っています。活動を活発に行えば行うほど経費が掛かるわけで、今後は何か適切な対応を考える段階に入ったといえます。

歯科の歴史を見ると、日本歯科医師会が長きに渡って多くの仕事を担ってきており、大変だったことと感じています。一方で多くの専門学会が科学的な沢山の成果を挙げることで、その分野をリードしています。教育的にはモデルコアカリキュラムと共用試験、歯科医師国家試験や研修医制度など大きな変化を経験しました。定期的に見直しされていますが、まだまだ問題点も沢山あるように感じます。20世紀終盤から各専門学会は専門医の認定制度を取り入れてきました。歯科技工士や歯科衛生士も認定制度を確立し、専門性の拡充を目指しています。今後は、それぞれの団体が独自性を発揮しつつ、一つの大きな団体に頼ることなく成長する時代に入ったと感じます。今後は、各団体自身の会員の利益のためばかりではなく、歯科界全体や国民の立場にたった考え方に基づく事業展開が望まれます。

海外においては、多くの先進諸国で制度的な改革も行われています。発展途上国では、資格取得を先進国に頼っていた時代から、独自の制度確立へと進んでいるように思います。科学的、技術的、器材の開発、健康保険制度、教育や研修制度など、わが国がリードすべきことも多くあると思います。逆に海外から取り入れるべき考え方や制度もあります。歯学協は優秀な先生方の集まりですので、過去の歴史や海外に目を向け、一段高いところを目指して頂きたいと思っています。

微力でしたが、長い間お手伝いさせて頂いたことに誇りを感じています。ありがとうございました。

【学会紹介】 国際歯科学士会(ICD)日本部会

国際歯科学士会(International College of Dentists)は1930年に設立された国際組織で、アメリカに本部をおき、1957年にICD Japan Section(ICD日本部会)が設立されました。日本部会は来年60周年を迎え、歴史と伝統のある国際的な学会であると自負しております。『会員は歯科医療に於ける崇高な奉仕の精神を自覚し、道義をわきまえ歯科医療の水準を高め、もって会員としての誇りを維持する事に努める』と言う綱領を掲げ、歯科医学領域を通じて広く国際社会に貢献することを本旨とするという高い理念のもと活動しています。

本会では、1. 総会・認証式、2. 年末集会、3. 冬期学会を三大事業として、東京を中心に関西や中部地区等でも開催し、講演会は常に時代のニーズに応じた講師を招いています。また、「国際歯科学士会日本部会雑誌」を年1回発刊し、各分野で活躍するフェローによる学術的な原稿を中心とする特集、新入会員による論文、冬期学会の特集などを掲載しています。年1~2回発行するニューズレターには、その年の出来事や新入会員のプロフィールなどを掲載しています。

国際交流として国際理事2名を中心に活動を広げています。特に台湾、韓国とは認証式を通じて毎年交流を深めており、年末集会には留学生を招待しています。

本年も三大事業を充実させ、フェローによる海外ボランティア体験をより多く実施する等、本会の更なる発展のために様々な事業を企画しています。

会長 水谷 忠司

【学会紹介】 日本睡眠歯科学会

現在、日本医学会の分科会である日本睡眠学会の睡眠医療認定歯科医制度(2002年)がスタートする際、7名の歯科医師(菊池哲、池松武直、河野正己、古畑升、江崎和久、日暮尚樹、宮尾悦子)が日本睡眠歯科医療研究会を立ち上げたことに始まります。設立総会(大会長は初代理事長：菊池哲先生)は、2003年10月25日に100名以上の参加者が集まって開催されました。その後、15回の学術集会を開催し、会員数約600名の若い学会です。2012年からは、外木守雄が理事長を務めています。

主な学会活動は、年1回の学術集会のほか、2015年には、学会誌である“睡眠口腔医学”を発刊し、海外学術誌として、Sleep and Breathingを定期刊行しています。また同年認定医制度を発足させ、約60名の認定医、指導医を輩出しました。その他、定期的に睡眠歯科医学エキスパート講座、睡眠歯科医学基礎講座、認定歯科医試験対策勉強会、各種講演会などを開催し、会員のみならず歯科医療関係者に良質な睡眠歯科医療を展開するための情報発信活動を行っています。さらに、2014年からは“ストップ ザ いびき”“そのいびき歯科で治るかもしれません”というキャンペーンを行い、歯科医療が国民福祉にさまざまな面で貢献できることをアピールしています。

理事長：外木守雄

【学会紹介】 日本歯科衛生学会

歯科衛生士の学会活動は、1967年に日本口腔衛生学会の歯科衛生士コーナー設置を端緒にすでに50年近い歴史を重ねました。1973年には日本歯科衛生士会主催の学術集会として開催され、1981年には学術大会と名称を変え、以来、毎年度の事業として実施され38回まで数えました。この学術大会は、2006年に日本歯科衛生学会第1回学術大会として引き継がれ、2016年で11回を数えます。

日本歯科衛生学会は歯科衛生の実践に根ざした学術研究の振興に努め、もって人々の健康と福祉に貢献することを目的に設立されました。設立以来、年1回の学術大会の開催および年2回の学術雑誌の発行を行っております。設立から10年間で、歯科衛生業務の実践者ならびに教育・指導者の学術研究の場として、大きく成長しました。

近年、歯科医療が高度化する一方で、生活者の視点から健康とQOLのありようが問われています。ひとがひとらしく生きる上で基本となる口腔機能と口腔衛生の向上を積極的に支援できるよう、ケアの実践をいかに進めていくかをテーマとして、本学会は歩んでまいりました。今後も、これらのテーマに取り組んでいくと同時に、専門職として倫理および自律性を涵養する場としての役割を学会が担っていくようさらに努めてまいります。

これからも多くの皆様との交流を大切に歩みたく、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会長：吉田直美

【学会紹介】 日本摂食嚥下リハビリテーション学会

当初200名ほどの研究会から始まった本学会は1994年に設立し、現在会員数は1万2千人ほどになりました。言語聴覚士を筆頭に歯科医師、医師、看護師、栄養士、歯科衛生士、理学療法士、作業療法士、介護福祉士、歯科技工士と多職種協働を旨とする学会です。コメディカルが主体をなしていることから、明日からの臨床に役立てる内容が多く、学術総会の参加者は最近では毎回6000人を超え、どの発表会場も立ち見状況です。

認定士制度、認定士セミナー、市民講座の開催、e-learningによる学習システム、研究助成金制度、診療ガイドラインの策定などの事業が軌道に乗っています。また2017年10月バルセロナでの第1回国際学会World Dysphagia Summit (WDS)の準備を進めています。2016年9月の第22回本学術大会(新潟)において、日韓ジョイントカンファレンスを行い、今後日本と韓国で毎年交互に開催し、WDSアジア地区の位置付けを明確にしていこうとしています。ちなみに第2回WDSは2020年愛知県にて開催を予定しています。

規模と多職種協働の構図は日本が世界をリードしており、特にこうして歯科医療従事者が本分野の柱となっているのは他国に例をみないものです。歴代三代の理事長が成し遂げたホップ・ステップ・ジャンプを基調に、歩幅は小さいですが足底に一步の感触が得られるよう、1万人の会員を通じて楽しみのある穏やかな超高齢社会の実現に寄与していきたいと思っております。

理事長：植田耕一郎

事務局：(一財)口腔保健協会内
〒170-0003 東京都豊島区駒込1-43-9 駒込TSビル
電話：03(3947)8891
E-mail: gakkai18@kokuhooken.or.jp
URL: <http://www.ucjds.jp/>

【学会紹介】 日本アンチエイジング歯科学会

日本アンチエイジング歯科学会は2000年1月1日に設立された「日本歯科漂白研究会」を嚆矢とします。その後高齢社会の到来という時代を背景により広範囲な学会活動を目指して、2005年4月17日に日本アンチエイジング歯科学会に名称変更を行いました。

超高齢社会はいよいよ本番、本学会のミッションを「容姿管理」「生活管理」「寿命管理」の3つに定め、歯科の立場から健康長寿にどう貢献ができるかを学会の目標にしています。

平均寿命と健康寿命の差をどこまで縮められるか、誤解を恐れずに言えば、医療費の節約にどこまで貢献できるかも視野に入れています。

口は消化管の入り口であり、全身管理の上からもいろいろな情報を取得できる窓口でもあります。従って学際的な分野、たとえば食、認知症、美容、スポーツ、メンタルヘルス等にも注力しています。

会員数：1613名(2016年4月末日現在)

賛助会員：42社

会長：松尾 通

会員学会の総会・学術大会の日程 (平成28年7月の予定)

一般社団法人日本顎関節学会(第29回総会・学術大会)
7月17日～18日、箱根湯本富士屋ホテル
久保田 英朗 大会長

日本歯科医学教育学会(第35回総会および学術大会)
7月1日～2日、大阪大学コンベンションセンター
天野 敦雄 大会長

一般社団法人日本歯科心身医学会(第31回総会・学術大会)
7月23日～24日、岩手県歯科医師会館・岩手医科大学
近藤 尚知 大会長

一般社団法人日本歯内療法学会(第37回学術大会)
7月23日～24日、愛知県産業労働センター
中田 和彦 大会長

公益社団法人日本補綴歯科学会(第125回学術大会)
7月8日～10日、石川県立音楽堂、ANAクラウンプラザホテル金沢
前田 芳信 大会長

特定非営利活動法人日本臨床歯周病学会(第34回年次大会)
7月8～10日、アクロス福岡
木村 英隆 大会長

一般社団法人日本レーザー歯学会(第28回総会・学術大会(第15回国際レーザー歯学会併催))
7月16日～19日、愛知県産業労働センター
吉成 伸夫 大会長

日本外傷歯学会(第16回総会・学術大会)
7月16日～17日、神戸大学医学部会館シスメックスホール3階
古森 孝英 大会長